
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.178 2026/4/15

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 新年度スタートにあたり
- [2] 【航空局】（報告）3月19日からの滑走路占有警報に係る運用延期について
- [3] 【航空局】（バブコメのお知らせ）「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定案について
- [4] 【お知らせ】 第21～23回小型航空機セーフティセミナー動画掲載
- [5] 【VOICES FEEDBACK】
- [6] 【お知らせ】 法政大学任期付教員公募（理工学部機械工学科航空操縦学専修）
- [7] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開
- [8] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [9] 【JAPA SHOP】 ゴールデンウィーク期間中の発送のご案内
- [10] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



- [1] 【三役コラム】 新年度スタートにあたり
会長 進 俊則



会長の進です。
2026年度がスタートしましたが、世界的に経済への不安が広がっ

ています。

イラン情勢が原油価格に直結、イエメン参戦によりペルシャ湾のみならず紅海の出口も封鎖状態になれば更に原油価格が高騰し、航空燃料はもちろん石油製品への影響は物価高騰に繋がります。円安の影響もあり、航空界はトリプルパンチ状態です。

JAPA に関しては、3年間の緊急収支改善プロジェクトを経て、漸く出血を止めることが出来ました。

しかしながら財務状況は依然として脆弱で、更なる改善策、特に収入増施策を考えています。

安全に関してです。

ニューヨークのラガーディア空港で、消防車と航空機の衝突事故がありました。

2年前の羽田空港での事故を思い出します。

事故原因とは別に、運航者として再確認すべきことは、例え青信号であっても警戒を緩めてはならないという基本的なことだと思います。

安全運航は航空に携わる者の使命です。

航空法 103 条 本邦航空運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

自家用であっても同じです。

このことを忘れずに、安全運航を堅持しましょう。



[2] 【航空局】（報告）3月19日からの滑走路占有警報に係る運用延期について



航空局 交通管制部 交通管制企画課より、2026年3月19日に運用を予定していた「滑走路占有警報」の開始を見送るとの連絡がありました。航空局によれば、現在運用開始に向け調整作業等行っており、現時点で開始時期の見通しは立っていないとのことです。

ノート等詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12228>



[3] 【航空局】 (パブコメのお知らせ) 「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定案について"



航空局 安全部 安全政策課より、「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定をするため、3月23日～4月22日の間で意見公募(パブリックコメント)を実施している旨連絡がありましたので、周知いたします。
詳細ホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12242>



[4] 【お知らせ】 第21～23回小型航空機セーフティセミナー動画掲載



2024年から昨年2026年に開催いたしました第21回～第23回小型航空機セーフティセミナーの動画を、ホームページにて公開しております。
ぜひご覧ください。

https://www.japa.or.jp/category/business_aviation_committee



[5] 【VOICES FEEDBACK】

<①>目視外飛行ドローンとの接近のおそれ

<②>羽田空港 OPAR 3 DEP



<①>目視外飛行ドローンとの接近のおそれ

予定されていた調査フライトに向け、航法アプリを用いてフライトコースならびに NOTAM を確認していたところ、目視外飛行ドローンの飛行エリアを飛行することが分かった。

NOTAM に記載されている連絡先に問い合わせたところ、当日も飛行する予定があるとのことで、詳細を確認するとともにこちらの飛行についても情報提供を行った (good)。

ドローン運航会社からはドローンの運航を取りやめるとの申し出があったが、こちらのフライトが終わり次第運航管理より連絡する旨お伝えし、運航の可否の判断は委ねた。

確認・調整がなければ、目視外ドローンとの接近、衝突のリスクがあったが、今回は NOTAM の事前確認、ドローン運航会社との情報共有により、フライトに対するハザードを排除できたため、特に問題点はなかった。今後も同様に NOTAM の情報入手を行っていく。

(VOICES コメント)

目視外飛行のドローンの運航は増える方向なので、事前に NOTAM を確認し、必要であればドローン運航会社と調整することが必須となる時代となってきました。

<②>羽田空港 OPAR 3 DEP

羽田 RWY 34R からの OPAR 3 DEP は、HME 7DME からターン開始して 8DME ARC に入る設定ですが、大型機の実速では現実的にはどのような飛行方法を取っても従うことが不可能な設定と考えられます。(180kt で 25 度 Bank 確立後に旋回半径 1.0NM。B787 53 万ポンドで V2 169kt、V2+15=184kt) Simulator で試し

た人によると、B787 ではどのような SPD を入力してどのような SPD で飛行しても、LNAV では 8DME ARC に対して 1NM 以上は必ずオーバーシュートして不安定な飛行となるとのことでした。

これまでは管制も無理な設定であることを把握しているのか、離陸後速やかに Radar Vector されてきましたが、最近管制から Radar Vector の指示が来ないことが増えてきたと感じています。

最近、ARC へのターン開始が迫っても指示が無いため、“Request Radar Vector、Unable follow SID”を通報して Radar Vector が開始された後、管制から“Radar Vector の Request 理由は何でしょうか？”と質問がありました。

“7DME から旋回開始して 8DME ARC に入ることが性能上不可能なためです”と返答しました。しかしこの時、Heavy Weight で VFE や SPD に気を遣いながら Flap を上げる Workload が高い加速中でした。管制がこの SID に従うことは不可能であると認識していないのであれば今後も同様の状況につながると考えられます。性能上制限があることを管制と共有できればと思います。



[6] 【お知らせ】法政大学任期付教員公募（理工学部機械工学科航空操縦学専修）



詳細は下記 URL をご参照ください。

法政大学任期付教員公募（理工学部機械工学科航空操縦学専修）

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/04/4a5fa92cc70a9f78d84e24e27707156e.pdf>



[7] 【お知らせ】JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。
ぜひご覧ください。

《ATS 委員会》

【JAPA E-Journal 2025-017】 ATC 再発見 Vol.051
【ATIS 受信証の通報先（到着機編）】

《運航技術委員会》

【JAPA E-Journal 2026-001】 リスクの管理と低減

<https://www.japa.or.jp/e-journal>



[8] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《航空安全講習会》

4月19日 埼玉/実開催のみ

6月27日 熊本開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

5月23日 北海道開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>



[9] 【JAPA SHOP】 ゴールデンウィーク期間中の発送のご案内



ゴールデンウィーク（大型連休）期間における、JAPASHOP の
発送予定をご案内いたします。

連休前発送最終受付：2026年4月30日(木)15:00 ご注文分まで

※商品代金のご決済済でないとは発送ができませんので、ご注意ください。

《2026年5月2日(土)～6日(水) 発送お休み》

連休後発送開始日：2026年4月30日(木)15:00以降のご注文は

2026年5月7日(木)より順次発送予定いたします。

<https://www.japa.or.jp/12287>



[10]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用
した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能です
ので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐ
に入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は5月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法

については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
